

起因物（小）別コードno.411 足場労働災害発生状況

業種別足場労働災害発生状況（1999-2021年）

業種	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	合計	
010101 肉製 品、乳 製品製 造業			1		1		2			1	1			1			1	1			1			10	
010102 水産食 料品製 造業			3		2			2	1			2		2	1				1			1		3	18
010103 農業保 存食料 品製造 業								1									1		2		1			5	
010104 パン、 菓子製 造業			1								1	1			1			1		2		1		8	

刷・製 本業																							
0107 印刷・ 製本業								1	1		2	1	1					1				7	
010801 無機・ 有機化 学工業 製品製 造業			2			2	1	1	2		1	1			1		2	1	2	1	1	18	
010802 化学織 維製造 業					1						1				1							3	
010803 医薬品 製造業								1	1								1					3	
010804 石油製 品・石 炭製品					1			1						2	2				1			7	

その他の鉄鋼業					2	1	2	2		1	2			1	1			1				13	
0110 鉄鋼業					2	3	4	4	1	2	2	2	1	2		3	1	3	1	1			32
011101 非鉄金属精練・圧延業							1											1				2	
011102 非鉄金属鋳物業															1							1	
011109 その他の非鉄金属製造業								1					1				1					3	
0111 非鉄金属製造							1	1					1		1	1		1				6	

業																							
011201 洋食 器・刃 物製造 業												1											1
011202 ねじ等 製造業																							
011203 金属プ レス製 品製造 業						1	2	1			1	1									1	7	
011204 めっき 業						1	1					1	2	1					1	1		8	
011209 その他 の金属 製品製 造業		26		26		13	25	30	17	14	16	22	19	12	14	13	12	10	12	18	13	13	325

同部品 製造業																								
011305 その他の精密 機械器具製造 業			2		2			1	1			1	2	2		1					1	1		14
0113 機械器具製造 業			15		8		11	7	10	14	10	6	6	7	3	8	6	9	9	3	3	9	3	147
011401 重電機 製造業													1								1			2
011402 軽電機 製造業							2		1					1			1					1		6
011403 電子機 器用・ 通信機																								
					1		2		1	1								2					2	9

の鉱業																							
02 鉱業		4		2		2	3	4	3		3	3	2		3	2	2		1	2	2	2	40
030101 水力発 電所等 建設工 事業		3		1				2				2		1	2	1	1	2		1	3	19	
030102 トンネ ル建設 工事業		4		3		2	2	2	4	1	1	5	3		2		2	2		2		1	36
030103 地下鉄 建設工 事業		1		2			2		1		1			1						1		1	10
030104 鉄道軌 道建設 工事業		7		4		3		5		3	1	2	1	2	1			1	1	1	1	1	34
030105 橋梁建 設工事		36		28		16	28	32	25	14	32	25	15	22	23	20	17	13	13	16	11	5	391

業																								
030106 道路建設 工事業			36		24		15	14	13	15	12	5	8	5	6	8	8	7	11	6	6	5	7	211
030107 河川土 木工事 業			11		6		6	7	8	2	4	3	2	4	3	2	2	3	1	1	3	1		69
030108 砂防工 事業			23		9		11	6	4	7	7	5	4	3	5	9	3	4	1	4	3	1		109
030109 土地整 理土木 工事業			8		6		11	8	7	5	6	1	3	1	5	1	4	3	3	1	2	3	2	80
030110 上下水 道工事 業			9		5		7	4	4	1	1	3	2	1	3	4	2		4	2	2	4	2	60
030111 港湾海			8		4		6	2	4	3	2	4	2	1	5	6	4	3	6	1	5	3	1	70

建築設備工事業		76		54		52	64	46	41	25	33	52	33	44	39	39	31	29	24	39	23	29	773
030209 その他の建築工事業		372		357		350	387	349	289	271	252	296	293	315	306	278	214	198	243	263	227	226	5,486
0302 建築工事業		1,710		1,517		1,412	1,429	1,336	1,135	842	766	910	910	995	980	824	787	737	724	811	651	644	19,120
030301 電気通信工事業		17		12		13	13	15	10	12	9	15	3	11	8	8	6	4	6	1	7	6	176
030302 機械器具設置工事業		40		24		23	32	36	33	16	15	12	16	14	14	16	15	11	18	15	9	16	375
030309 その他の建設業－そ		81		82		103	93	71	96	54	54	61	75	77	79	70	79	71	62	62	76	67	1,413

運送業																								
0502 港湾運 送業			2		3		2		3	1		1				1				1	1	1	1	17
05 貨物 取扱業			5		5		6	1	5	1	1	3		3	2	3			3	3	3	2	4	50
060101 農業			5		5		5	6	5	2	2	4	1	3	2	3	3	1	1	2	3	1	3	57
0601 農業			5		5		5	6	5	2	2	4	1	3	2	3	3	1	1	2	3	1	3	57
060201 木材伐 出業			1					1		1						1			1	2	2	1		10
060209 その他 の林業			2					1						1		1								5
0602 林業			3					2		1				1		2			1	2	2	1		15
06 農林 業			8		5		5	8	5	3	2	4	1	4	2	5	3	1	2	4	5	2	3	72
070101 畜産業			3		1		3	2	2	1	2	4	1	3	1				1	1	3	2	1	31

医療保 健業			1			2	2	3			2	1	2	1		2		1	1	1	1	2	22	
130201 社会福 祉施設					1		1		3	1	2	1	1	3	1	3	5	4	2	5	2	2	3	40
1302 社会福 祉施設					1		1		3	1	2	1	1	3	1	3	5	4	2	5	2	2	3	40
130301 浴場業					1									1		1							3	
130309 その他 の保健 衛生業 －その 他																								4
1303 その他 の保健 衛生業																								7
13 保健 衛生業			1		2		3	2	6	1	2	4	2	6	2	4	7	6	4	6	3	3	5	69

娯楽業 －その他			3		4		3	1	3	4	2	1	1		3	1	3			2	1		1	33
1403 その他の接客 娯楽業			5		4		3	1	5	5	3	3	1	1	4	1	3	1	2	2	2		2	48
14 接客 娯楽業			10		16		8	4	10	8	11	5	6	4	9	10	6	6	3	2	4		5	127
150101 ビルメンテナ ンス業			18		20		12	14	12	16	17	14	13	13	11	5	10	11	6	13	10	6	9	230
150102 産業廃 棄物処 理業					2		2	5	6	6	2	4	2	5	2	5	3	3	2	6	2	4	1	62
150103 その他 の廃棄 物処理 業			1		3			2	4	1				1		2		1				1	2	18

170101 派遣業							1										1				2	4	
1701 派遣業							1										1				2	4	
170201 警備業		3		1		2	1	2	1	3	2	1		1	3	1	2	3	3		3	1	33
170202 情報処 理サー ビス業																							
170209 その他		17		13		13	11	17	8	15	3	11	10	12	14	12	7	12	14	10	7	17	223
1702 その他 の事業		20		14		15	12	19	9	18	5	12	10	13	17	13	9	15	17	10	10	18	256
17 其 他の事 業		20		14		15	13	19	9	18	5	12	10	13	17	13	10	15	17	10	12	18	260
0 全産 業		2,296		2,035		1,905	1,881	1,838	1,580	1,182	1,053	1,224	1,234	1,318	1,332	1,154	1,093	1,030	1,023	1,116	920	908	26,122

業種別足場死亡災害発生状況（1999-2021年）

17 その他の事業																								
0 全産業	78	55	56	53	53	50	44	31	36	38	28	49	29	26	36	36	27	17	31	25	23	19	14	854

出典：<https://anzeninfo.mhlw.go.jp/user/anzen/tok/anst00.htm> (MHLW, Japan)

足場を起因物（小）とする死亡災害事例（2012-2020年）

年	月	発 生 時	死亡災害事例	業種 (小) コード	事故 の型 コー ド	労 働 者 規 模
2012	9	14 ～ 15	被災者は鋼橋の上部架設工事現場において、組立て中のつり足場の作業床上を歩いていたところ、体勢を崩して約10m下方の地上に墜落した。なお、つり足場には、手すり、防網等の墜落防止設備は未設置であった。また、安全帯は着用していたが、取付け設備は設置されておらず使用していなかった。	30105	1	10 ～ 29
2012	7	12 ～ 13	被災者は既設建築物外部に枠くみ足場を3段設置し、屋根や壁の塗り替え作業を行っていた。被災者が外部足場に設置された階段枠を使用して地上に降りる際、3段目と2段目の間に設置されていた階段枠が外れたことによりバランスを崩し、3段目の外側の筋かいを超えて、足場から約5m下の歩道に墜落した。なお、安全帯、保護帽の着用はなかった。筋かいのみ設置されていた。	30209	1	1～ 9
		9	外壁補修及び塗装工事のため設置したくさび型鋼管足場（8層）を解体作業中、解体をしていた足場（6層目）の床からバランス			10

2012	3	～ 10	を崩し、約10m下のアスファルト舗装に墜落した。	30209	1	～ 29
2012	8	～ 9	ビケ足場から単管の腕木を躯体側に張り出し、そこに木製の板を渡して足場とした。被災者は足場に乗って屋根の上に野路板を載せる作業を行っていたが、乗っていた足場が崩壊した。この足場は、躯体の外側で庇の真上に設置されていたが、被災者は躯体の2階開口部を通過して約4m下の1階コンクリート土間に墜落し、死亡した。	30202	1	1～ 9
2012	7	～ 12	被災者は足場の解体作業中、休憩をとるため足場から地上に降りようと建地を伝っていたところ、体調不良を訴え意識を失った。	30209	13	1～ 9
2012	6	～ 10	2層6連（高さ約3m、長さ約9m、幅約1m）の枠組足場を地上で組んで、クローラクレーンで吊上げ、既に構築された足場に設置する作業において、被災者は約30mの高さの足場上から地面に墜落した。なお、被災者は安全帯を装着していたが、足場上を移動するために親綱から安全帯を取り外した際、墜落した。	30201	1	30 ～ 49
2012	1	～ 10	地上3階建ての新築工事現場において、建設用リフト及び当該リフト回りの外部足場解体作業を行っていた被災者は、足場の6段目（高さ約11m）において作業中、足場上から墜落した。	30201	1	10 ～ 29
2012	12	～ 10	立坑内に設置してあるステージと通路の解体、及び取り合い部分の昇降用足場2段を解体する作業を、被災者を含む複数名の鳶工が行っていた。被災者はステージと通路の解体材であるクランプを土嚢袋へ集積する作業を単独で足場上でかがみこんだ姿勢で行っていたところ、前のめりで前転するような姿勢で約10m下へ墜落した。なお、被災者は安全帯を装着していたが、未使用であった。	30102	1	1～ 9
2012	9	～ 17	マンション外壁改修のための単管一側ブラケット足場の昇降設備として、単管を組み合わせたはしごを当該足場に組み立て中、はしごの踏さん（直交クランプで建地に緊結）の片方が外れ、そこに足をかけていた被災者が約6m墜落し、心臓破裂他で死亡した。	30201	1	10 ～ 29
		1	吊足場の解体中、朝顔材を取り外すため玉掛をしようと朝顔材に立て架けたはしごに乗ったところ、朝顔材の控え材（単管）			30

2012	4	2	が、足場床と固定していたクランプから抜け、朝顔パネルが外側に転倒し、立て架けたはしごとともに、約8m下の道路面に墜落した。	30105	1	～ 49
2012	4	8 ～ 9	橋桁の欄干（防風柵）の新設のため、橋桁につり足場を設置を行っていたところ、つり足場のつり枠とつり枠の間に仮設置した作業床が脱落し、作業床上で本固定しようとしていた作業員が作業床と一緒に、約15m下の運河に墜落した。	30105	1	50 ～ 99
2012	11	13 ～ 14	マンションの大規模改修工事において、枠組み足場を解体作業中、被災者は足場の13段目から地面まで墜落した。	30209	1	10 ～ 29
2012	11	15 ～ 16	被災者は単管抱き足場解体作業中、取り外した単管を持って移動していたところ、バランスを崩して約30m下の地上に墜落したものの。なお、安全帯は装着していたが使用していなかった。	30209	1	1～ 9
2012	2	0 ～ 1	高架道路の補修作業において、高架下に設置されたパネル式つり足場の解体作業中、つり足場上で取り外された足場板（パネル）を高所作業車が設置してある箇所まで運搬する作業を行っていた被災者が、何らかの理由により取り外し中の足場板（パネル）上に乗ったため、足場板（パネル）の片側が脱落、約17m下の地面に墜落した。	30106	1	1～ 9
2012	12	15 ～ 16	木造建築物の新築工事現場において、クサビ緊結式足場と連結している作業構台（高さ約5m、幅5.4m×奥行き3.6m）の上に作業小屋を設置する作業中、作業小屋の屋根となる波板（幅0.83m×長さ4.12m、荷重約8kg）の取付け作業を行っていたところ、作業構台の外側に設置したブラケット部の作業床から高さ約6m下の地面に墜落した。	30202	1	1～ 9
2012	10	11 ～ 12	2階建住宅の屋根張替工事現場において、屋根等を外し、新しい屋根の下地を作成していた。被災者は住宅の南東側の破風板の上部に取付ける板を釘止めする前に、釘を打込む箇所を側面より確認すべく、住宅の外周に設けられた一側足場の3層目の手すりの上に両足で乗り、当該個所で屈みながら、足場の外周に設けられていたネットに寄りかかるようにして確認していたところ、固定していたネットの紐が切れ、約6m下に落下した。	30209	1	10 ～ 29
		14				

2012	8	15	外壁塗装工事を行っていた被災者は、道路から高さ約5mにある足場から道路上に墜落し、死亡した。	30309	1	1～ 9
2012	2	9	8 橋梁上部工事において、橋梁下部に設置された吊足場の側面に設置されていたブルーシート（端部を足場部材に固定していたもの）が外れ、吊足場上の物の落下防止用のメッシュシートに引っかかっていた。被災者は吊足場の手すりから身を乗り出してブルーシートを引き上げようとしたところ、吊足場から約15m墜落し、その後、斜面を約15m滑落した。	30105	1	10～ 29
2012	8	4	3 高架橋塗替塗装工事において、橋脚間につり足場を設置する作業中、ずれた足場の位置を補正するため、レバーブロックを使用してつり足場を牽引する作業を行っていた際、作業員がレバーブロックの緊張を戻したところ、牽引していた足場の一部（2m×4m）が崩壊し、崩壊した足場上にいた被災者は、足場材料と共に約14m下のコンクリート製通路に墜落した。	30309	1	30～ 49
2012	7	12	11 橋梁の上部撤去工事現場において、トラスト部材（欄干）の切断撤去後の足場の解体作業中、地上からの高さ約8mの足場から河川敷へ墜落し、死亡した。	30309	1	1～ 9
2012	6	17	16 体育館躯体解体工事現場において、強風による足場の倒壊を防止するため、足場と躯体を固縛すべく繊維ロープの取付け作業を行っている際に発生した。被災者は、高さ約13mの足場7段目若しくは8段目作業床から、手すり及び筋かいを乗り越えて躯体屋上の腰壁部分に移動しようとした際、躯体と足場の間から墜落し死亡した。	30201	1	1～ 9
2012	5	16	15 昇降設備（校舎3階バルコニーから屋上へ昇降する設備）の解体作業中に、被災者は校舎2階バルコニー上に設けた足場の1層目（2階バルコニーGLから1.7mの高さ）から墜落し、脳挫傷のため死亡した。なお、被災者は保護帽を着用しておらず、墜落防止措置も講じられていなかった。	150102	1	1～ 9
2012	5	12	11 木造一戸建て建売住宅新築工事において、2階外壁防水工事のために外部足場の建地を登っていたところ、足を踏み外し高さ約4mから地面へ墜落した。	30202	1	1～ 9
		13	建物の吹抜け部に設置された高さ9mの枠組足場（4層）の解体作業において、被災者は2層毎に解体するため3層目の足場上			10

2012	3	～	（幅0.6m）でブラケット等の足場材料を取り外し中、筋交いの間から約5.3m下のコンクリートスラブに墜落し、頭部を強打し死亡した。	30201	1	～	29
2012	8	18 ～ 19	被災者はビル屋上塔屋部の外部足場を解体中、枠組足場（2層2スパン）から張り出したブラケット足場に移動した際、足場が傾き、足場と共に約35m下の連絡通路に墜落した。	30201	1	1～	9
2012	9	16 ～ 17	工場の新築工事現場で、天井クレーンのレールの取付作業を行っていた際、被災者はレールを取り付けるため組立中の足場上を移動していたところ、足場調整枠の足場板設置前の開口部から約10m下の地面に墜落した。	30302	1	1～	9
2013	11	11 ～ 12	R C造2階建て建築物の改修工事現場において枠組足場の解体作業中、足場5層目より7メートル下方の地上に墜落した。被災者は、建枠の横架材上に仮置きした長さ6.8メートルの頭つなぎ用単管を地上に下すため、同単管の端部を持ちながら作業床（幅50cm）上を後退していたところ、足場の端部を越え墜落した。尚、被災者は、安全帯を着用していなかった。	30201	1	1～	9
2013	7	14 ～ 15	被災者は、橋の補修工事現場において、橋の地覆コンクリートを解体する（斫る）作業を行っていたところ、橋の側面に沿って設置したつり足場が全長（約94m）にわたり崩れ、約8m下へ墜落した。	30106	5	10	～ 29
2013	7	14 ～ 15	被災者は、パネル式吊り足場の設置作業中、パネル足場板（長さ1.32m、幅66cm。片端はチェーンで吊り下げ、もう片端は鉄骨橋桁に2個の鉄骨クランプで挟み込み固定されていた。）上で、足場板から橋の高欄下までの高さをコンベックスで測っていたところ、鉄骨クランプ1個が鉄骨橋桁から外れ、乗っていた足場板が回転しバランスを崩し、15m下のダム湖に墜落し溺死した（水深3m程度）。	30105	1	1～	9
2013	11	8 ～ 9	塗装のための準備作業を一人で行っていたところ、足場から墜落した。尚、被災者は保護帽、安全帯及び安全靴を着用していなかった。	30202	1	1～	9
		10					30

2013	1	11	解体工事にて、天井部をピックではつり解体のため枠組足場1層設置し当該足場上で作業していたところ、1.7メートル下のコンクリート土間に転落し、頭部を強打した。	30201	1	～ 49
2013	8	13～14	被災者は、建築物外部の鋼構造物の外周にコの字型に設置した塗装用枠組足場（8段）の解体作業を行っていた。枠組足場上部から解体を始め、地上から3段目の足場上で作業を行っていた。コの字型に配置した枠組足場を固定するために水平に取付けられていた繋ぎの足場用単管（長さ5m）の直交クランプを外し終えた際、足場上（高さ5.6m）から地上に墜落した。	30201	1	1～ 9
2013	12	16～17	寺の新築工事現場において、本堂の屋根下地への銅板貼付け作業をしていた被災者は、高さ5mの足場床面から地面に墜落した。	30202	1	1～ 9
2013	3	15～16	ベルトコンベア（建屋屋上に設置されている）の点検用作業床を修理する工事において、被災者は残材を取りに行くため点検台周囲に設けられた足場板の上を歩いていたところ、足を乗せた板が結束されておらず、板と共に約2.2m下の地上に墜落した。	30209	1	1～ 9
2013	11	9～10	木造2階建新築工事。荷上げ機のレール（梯子）の盛り替えを手伝いに南側の足場に行くため、被災者は北側の屋根から東側の足場に移り、段々になった東側の足場を通っていたところ、足場の南東角辺りでバランスを崩し、足場の南東角の端から墜落し4.4メートル下の地面に落下した。	30209	1	1～ 9
2013	12	15～16	マンションの大規模修繕工事現場において足場の解体作業中、地上15階で足場材を受渡した後、足場を移動していた鳶職が、足場の外部から地上に約4.2メートル墜落した。	30209	1	1～ 9
2013	11	16～17	木造2階建住宅の塗替工事現場において、その日の作業が終了した後、被災者は自分で車を運転して帰宅したが、自宅近くの駐車場に止めた車の中で動けない状態にいるのを家族により発見された。救急搬送されたが、頭部外傷を原因とする急性硬膜下血腫及び脳挫傷により死亡が確認された。	30209	1	1～ 9
		17	FRP製タンクの製造業務において、高さ3.9mのローリング足場上で天板の加工作業を一人で行っていた被災者は、タンク			1～

2013	2	18	と足場の間から墜落した。	10805	1	9
2013	9	10 11	被災者は、東面・南面の枠組足場11層目を組立てするため、ウインチで荷揚げされた足場材の運搬と組立て作業を行っていた。運搬のため足場上（作業床幅50cm）を往来していた際、壁つなぎ用アンカーの打設作業を行っていた他の作業者の背後を通過しようとし、足場上から墜落・転落した（墜落高さ19m）。	30209	1	1～ 9
2013	11	11 12	マンション大規模修繕工事において、外部足場（枠組足場）の解体作業中の鳶工が、当該足場の11層目の布板を取り外した後、10層目床から17m下の植栽へ墜落した。尚、現認者はおらず、バランスを崩して墜落したものと推測される。また、プレス、下さんは先行して取り外されていた。親綱は設置されており、安全帯も着用していたが、使用していなかった。	30201	1	10 ～ 29
2013	10	13 14	被災者は、足場の9段目（高さ約14m）で、10段目にいた2名の作業者が足場板の隙間から降ろした下さんの受け取り作業を行っていた。下さんの受け取り作業が終わった後、被災者は地上へ墜落した。尚、被災者が作業していた箇所はメッシュシートや下さんがなく、その階下に朝顔が設置されていなかった。	30203	1	10 ～ 29
2013	1	16 17	焼却炉に設置した廃熱ボイラーの水管に付着した灰をサンドブラストで取り除く作業にて、被災者は、炉内から外に出るために足場を移動していたところ、足場昇降用のタラップの開口から約3メートル下に墜落し、下部に設置された灰を搬出するためのスクリーコンベアに巻き込まれた。	30309	1	50 ～ 99
2013	12	14 15	木造2階建て家屋の新築工事において、労働者2名で、建物の外側に石膏ボードを打ちつけるため、被災者が高さ2.3メートルの単管足場1段目の足場板から足場2段目の労働者に石膏ボードを渡していたところ、足場から墜落し、死亡した。尚、被災者が作業していた足場を含め、足場全体において、外側には手すりが高さ85センチメートルの位置にあったものの中さんはなく、内側（躯体側）に手すり等は一切設けられていなかった。	30202	1	1～ 9
2013	12	13 14	2階建て木造家屋新築工事現場において、高さ約5メートルの足場上で屋根に防水シートを貼り付ける作業をしていたところ、地面に墜落して死亡した。	30202	1	10 ～ 29
		17				30

2013	7	18	松の剪定用の単管足場の組立作業中に、足場上から塀の外側の4.1m下の道路上へ墜落して死亡した。尚、単管足場（最上部の水平材まで）の高さは2.76mで、地表から足場板までの高さは1.95mであった。	10409	1	～ 49
2013	9	18	航空機主翼の構造部材固定用に取付られたファスナー（鉚）の検査をしていた際、作業床の端部から2.7m下の床面へ墜落した。尚、当該作業床は主翼への工作、検査のために設置された専用足場にかかるもので、開閉式手摺りが設置されていたものの、所定位置にセットされていなかった。また、被災者は、安全带、保護帽をいずれも使用していなかった。	11509	1	50 ～ 99
2013	3	11	店舗にソーラーパネルを設置するため、事業主及び労働者2名の計3名にて、同工事に使用するための移動式足場（ローリングタワー）を組み立てていたところ、高さ5.2mの作業床から地上に墜落した。尚、作業時、安全带は着用していたが使用していなかった。	30203	1	1～ 9
2013	9	11	被災者は、足場設置作業中に高さ約5.7メートルの設置中の足場上から墜落した。尚、災害発生時、被災者はブラケット上で地上からの足場資材の受け渡し作業を行っていた。また、作業場所は、幅25センチメートルのブラケット上であった。	30209	1	1～ 9
2013	7	11	集合住宅修繕工事において中庭の足場組み立て中、被災者は、12層目の足場上で定格荷重150キログラムのウインチでつり上げられた足場の資材を取りこむ作業を行っていたところ、墜落した。尚、墜落瞬間の目撃者はいないが、被災者がウインチでつり上げられた荷にぶら下がっているのを、ウインチを操作していた者（作業主任者）が目撃している。	30201	1	1～ 9
2013	5	14	高さ180センチメートルのローリングタワー上にて、鉄骨継手部分のボルト付け作業を行っていた被災者は、作業場所から移動中、ローリングタワーの端部または昇降部から墜落した。	30209	1	1～ 9
2013	10	10	被災者は、建物10階付近の一侧ブラケット足場を移動中、25メートルの高さから中庭に墜落した。	30209	1	1～ 9
		11	建物解体工事現場で、全高11.2メートルの防音囲い（単管を格子状に組み立てたもの）に上り、ロープを用いて防音シート			10

2013	1	12	を地上から引っ張り上げる作業を行っていた被災者は、ロープを取り付けた防音シート端部の取っ手（ロープをくくり付けるための布製の輪）が切れたためバランスを崩し、高さ9.6メートルから墜落した。	30199	1	1 29
2013	7	9 10	被災者は、溶接作業者に溶接棒を渡すため、足場（単管張出足場）上を溶接棒数十本入りの一斗缶を持って移動中、躯体と足場板の間26cmの隙間から墜落、約24m下の地面に激突した。尚、発生場所付近は作業床の幅76cmの箇所であった。	30203	1	1 9
2013	4	14	農業倉庫新築工事現場内、くさび緊結式の移動式足場上で、本筋交いに耐震金物の仮止めを終了した後、当該移動式足場から外部足場に乗り移ろうとした際、移動式足場が当初の位置からずれ、2.8mの高さから、移動式足場と外部足場の間に墜落した。	30202	1	1 9
2013	3	11 12	建物新築工事に使用した単管ブラケット足場（建地2本）の解体作業を行うにあたり、被災者は第1層目の作業床（高さ1.86メートル）上から第2層目の作業床を取り外そうとしていたところ、バランスを崩し墜落した。	30201	1	1 9
2013	12	13 14	被災者は、解体工事現場の外部養生用枠組足場を解体作業中、地上約17mの足場板上から、取り外した枠組足場の交差筋交いと共に墜落した。	30209	1	1 9
2013	1	8 9	被災者は、屋上に設置されている看板を塗装するための準備作業としてコーキング剤による修繕を行うため、コーキング剤等を入れた段ボール箱を持ち、昇降設備も中さんもない単管足場の作業場所へ移動中若しくは作業準備中、足場より約13メートル下の地面へ墜落した。	30309	1	1 9
2013	8	8 9	2階建ての木造家屋において屋根の修繕工事をしていた被災者は、高さ4mの箇所（足場作業床）から墜落し死亡した。尚、被災者は老朽化した屋根瓦の修繕を行うため足場に昇り、2階屋根瓦の風化した練り土を取り除く作業を行っていたところ足元を滑らせ、手すりが欠落している隙間をすり抜け1階屋根の瓦へ転げ、更に1段目足場へ転落後、地上へ墜落したと推測される。	30309	1	1 9
2013	6	10	漁船の修理のため、船の陸揚げの際、船首部分の案内として使用した鋼製の枠上に歩み板を設置して作業床とし、当該高さ3	11501	1	10 ～

		11	メートルの作業床上で、船首部分に設置されている吊り金物のガス溶断作業を行っていた被災者は、地上まで墜落した。				29
2013	12	8 ～ 9	民家の防水工事現場において、作業の段取りのため道具を取りに行くため2階ベランダから地上に降りる際、架設通路として使用していた鋼管足場の歩み板上から約5.2m下の地面に転落した。	30209	1		1～ 9
2013	3	15 ～ 16	建物の改築工事現場において、地上から6.4mの高さの足場上で、躯体北面外壁の防水シート貼り作業を代表者と被災者の2名で行っていた。棟木付近の防水シート貼りを行っていた際、被災者は、棟木と垂木部の繋ぎ斜材の一部を切り落とすため、のこぎりを取りに足場を降りる途中、足場（幅500mm）上で転倒し、作業床と手摺りの間（450mm）から3.6m下のコンクリート土間に後頭部より墜落した。	30202	1		1～ 9
2013	11	14 ～ 15	2階建木造建築家屋新築工事において、1階の外壁に代表者と二人で防湿シートを張る作業を行っていた際、ブラケット足場の1段目（地上からの高さ145センチメートル）の作業床から墜落した。	30202	1		1～ 9
2014	12	11 ～ 12	足場解体作業中、地上へ降りようと足場上を移動していたところ、足場から墜落した。	30209	1		1～ 9
2014	12	11 ～ 12	マンション外壁改修工事現場にて、外部足場の解体作業中、建地材を持ち、足場作業床を移動していたところ、足場作業床から地面に墜落した。	30209	1		1～ 9
2014	11	15 ～ 16	川にかかる橋の補修工事のための吊り足場の延伸工事中、吊り足場の工事先端から川に足場部材ごと墜落した。	30105	10		1～ 9
		8	外壁塗装工事現場にて、建物外周に沿って組まれたくさび式足場の養生用メッシュシートの取付け作業中、足場3段目の作業床				1～

2014	11	9	より地上に墜落した。尚、安全帯は未着用であった。	30209	1	9
2014	11	10 ～ 11	介護付老人ホームの新築工事現場にて、外部足場の解体作業中、足場の作業床上で建地単管パイプを引き抜いたところ、バランスを崩し、足場から敷地外の歩道コンクリートへ落下し、死亡した。	30209	1	10 ～ 29
2014	10	9 ～ 10	マンションの外壁改修工事現場にて、足場の解体作業中、足場6層目より建物2階の庇に墜落し、死亡した。尚、被災者は安全帯は着用していたものの、使用しておらず、親綱等の設置も無かった。	30209	1	1～ 9
2014	10	15 ～ 16	新築工事現場にて、外部足場上で4階外壁の飾柱部分の配筋作業中、15.5メートル下の地上へ墜落した。	30201	1	1～ 9
2014	10	16 ～ 17	足場をつなげるため及び型枠作業中、足場を組み立てていたところ、被災者が足場より墜落した。	30201	1	1～ 9
2014	10	13 ～ 14	大講堂内に組み立てていた内部棚足場の解体作業中、棚足場上で足場板を外そうとしたところ、2.65メートル下のコンクリートへ墜落した。	30201	1	10 ～ 29
2014	9	16 ～ 17	建物解体工事にて、養生用の単管足場の組立て作業中、足場上で作業をしていた被災者が持っていた長さ4メートルの足場用単管が高圧電線に触れ、感電し、約7メートルの高さから墜落した。	30209	13	1～ 9
2014	9	10 ～	高さ約2.3mの外部鋼管足場（枠組）の作業床の上にて、軒下の造作作業中、墜落した。墜落した際、肋骨が骨折し、肺に刺	30202	1	1～

		11	さり死亡した。				9
2014	9	11 ～ 12	つり足場の解体作業中、足場板の片側の水平緊結用自在クランプが取り付けられていないことに気付かず、その上に乗ったところ、足場板が下向きに回転し、7. 8メートル下に停車していたトラック荷台上に墜落した。	30201	1		10 ～ 29
2014	9	13 ～ 14	手すり等の無いローリングタワーの上にて、屋根の鉄骨及び屋根材を溶接後、溶接位置を移動しようとして躯体を掴み、自力でローリングタワーを横移動させていたところ、脚輪が固定されておらず、ローリングタワーが転倒。約4メートルの高さからコンクリートの地面に墜落した。	30209	1		1～ 9
2014	9	8 ～ 9	資材を足場最上段から地面に下ろすため、最上段の枠にブラケットが取り付けられた単管パイプをクランプで固定し、ブラケットにロープを引っ掛け、ロープで荷を固縛し下ろそうとしたところ、荷の重さでクランプとともに単管パイプも回転し、ロープを握っていた被災者が墜落した。	30209	1		10 ～ 29
2014	8	9 ～ 10	足場板上にて、足場の組立作業中、同僚とすれ違う為、体を引いたところ、ブレースに接触し、固定されていなかったブレースが外側にはね出し、隙間から体が出て、中間の防音パネルにバウンドした後、1階の土間上に墜落した。	30201	1		1～ 9
2014	8	15 ～ 16	改修工事にて、ビニール養生を撤去していたところ、足場から体育館2階の歩廊に墜落し、死亡した。	30201	1		1～ 9
2014	8	15 ～ 16	くさび式足場専用の天井クレーンを展示するため、くさび式足場4層目にて、天井クレーンを設置していた被災者は、約8m下の地面に墜落し、死亡した。尚、くさび式足場の作業床の内側に手すりはなく、安全帯は使用していなかった。	80409	1		10 ～ 29
2014	8	15 ～	移動式クレーンを用いて足場の解体工事中、被災者は、枠組足場第8層にてワイヤーの玉掛け及び垂直ネットの処理を行っていたところ、地面まで14. 2メートルの高さから墜落し、死亡した。	30201	1		100 ～

		16				299
2014	7	2 ～ 3	外壁改修工事現場にて、ウィンチで足場の資材を取り込むための段取り作業中、枠組足場9段目から道路側の地上に墜落した。	30201	1	0
2014	7	18 ～ 19	被災者は、高圧洗浄機を用い、型枠に付着したコンクリートの洗浄作業後、コンクリート打設用の高さ約1.8mの足場から前向きに墜落。肝臓破裂による出血性ショックにより死亡した。	30201	1	50 ～ 99
2014	7	14 ～ 15	被災者は、耐震補強の鉄筋アンカー施工後の鉄筋アンカーを垂直に調整する作業を脚立足場上で行っていたところ、足場上でバランスを崩し、床面に設けた鉄筋アンカー上に転落。被災者の体にアンカーが突き刺さった。	30201	1	1～ 9
2014	7	16 ～ 17	ロングスパンエレベーター設置におけるガイドレール取付用足場の組立て作業中、足場上の被災者が大組足場を受け取り、足元の足場に緊結していたところ、墜落し、死亡した。	30209	1	10 ～ 29
2014	6	16 ～ 17	エレベーターピットのコンクリート型枠の解体作業中、意識不明の状態ですぐ倒れている被災者が発見された。	30201	1	1～ 9
2014	6	10 ～ 11	外部足場の解体作業を行っていた際、枠組足場上で玉掛及びジョイント部外し作業を行っていた被災者は、引っ掛かっていたユニットが外れた衝撃でバランスを崩し、地上へ墜落した。	30201	1	10 ～ 29
2014	5	13 ～ 14	ベニア貼り作業中、高さ147センチメートルの脚立足場から墜落した。	30202	1	10 ～ 29

2014	5	13 ～ 14	被災者は、屋根吹き替え工事現場にて、外部足場の落下防止シートを設置していたところ、墜落し、死亡した。	30202	1	1～ 9
2014	5	10 ～ 11	木造3階建住宅の新築工事現場にて、外壁の下地材の取付を行っていた被災者は、高さ5.75メートルの側足場の足場板から地上に墜落した。	30209	1	0
2014	4	17 ～ 18	木造2階建ての新築工事現場にて、先行足場の組立作業で高さ約7mに位置する落下防止手摺に連結用ジョイントを差し込む際、手摺にかけていた足元が滑り、バランス崩し、約4m下の基礎の上に墜落した。	30202	1	10 ～ 29
2014	3	14 ～ 15	足場組み立て作業中、足場材である支柱を手渡しで上層へ運搬していた際、手渡された支柱を持ち、クサビ緊結式足場3層目の幅25cmの足場板上を移動していたところ、バランスを崩し、支柱ごと約5.5m下に墜落した。	30202	1	10 ～ 29
2014	3	15 ～ 16	木造建売住宅建築工事現場にて、足場又は屋根から約6m下の地面に墜落した。	30202	1	10 ～ 29
2014	3	23 ～ 24	4階に設置された足場を解体作業中、バランスを崩し、2階吹き抜け部分に足場と一緒に約12メートル墜落した。	30201	1	1～ 9
2014	3	8 ～ 9	屋根、外壁塗装工事現場にて、洗浄用の養生シートを張る作業中、被災者は足場から高さ約5m下の敷地に墜落した。	30209	1	1～ 9
		10				

2014	2	11	被災者は、外部足場の解体作業にて、足場上で解体材料を上層の者から受け取り、移動して地上の者に受け渡す作業を行っていたところ、踏み板の運搬途中にバランスを崩し、足場3層目の妻側開口部から約4.4m下の地上まで墜落した。	30201	1	1～9
2014	2	17～18	防音改修工事にて、2階内壁の下地作業を行っていた被災者は、内部作業終了後、1階屋根上に設けられた作業構台の作業床の端から墜落した。	30202	1	1～9
2014	1	8～9	4階建て既設ビルの外部改修工事のための外部足場の組立て作業中、被災者は、足場の6層目にて足場外側に張るための養生シート等を滑車を用いて手動で荷揚げしていた際、11.35m下の地面に墜落した。尚、足場には高さ86cmの手すりのみ外周側に設置されており、中さん、幅木及び養生シートは設置されていなかった。また、安全帯は着用していたが使用していなかった。	30209	1	1～9
2014	1	13～14	被災者は、梁の建設工事現場にて、横桁架設作業時に底面足場板上から、0.9m上にある主桁下フランジ上面に上ろうとした際、雨が降っており足を滑らせ、吊り足場の足場板上に墜落。そのまま防網上に転落したが、転落した衝撃でネット結束部が2箇所外れ、更に約15m下の路面に墜落した。	30105	1	30～49
2015	4	1～2	高速道路の高架橋における高欄補修工事において、吊り足場の組み立て中に、吊りチェーンの上部支点の鉄骨クランプが外れ足場が傾斜したことにより作業者が約36m墜落し、死亡したものの。	30309	1	1～9
2015	10	16～17	木造2階建て建物の解体作業中、2階庇の取り壊し作業を行っていたところ、2次下請事業場所所属の被災者が、地上から高さ約6メートルの側足場3層目より墜落し死亡したものの。	30309	1	1～9
2015	10	9～10	工場外壁塗装工事現場において、外部足場（くさび式・側足場部分）の解体作業中、被災者は足場4段目に乗り、解体した足場材を足場3段目にいる作業員に手で受け渡した後、元の位置に戻ろうとしたところ、足場の外側から地上（高さ約6メートル）に墜落したものの。共同作業者からは死角となっていたため、墜落した瞬間を目撃した者はいない。	30209	1	1～9

2015	9	14 ～ 15	既設マンションの外壁補修工事現場において、外部足場（クサビ式）の解体作業を行っていたところ、7階バルコニー天井部に塗装不良があると下請労働者から報告を受け、手直し塗装を行うため外部足場（10層目）を移動していたところ、作業床に設けられた開口部（解体した足場部材を荷卸しするためのもの、長さ：1.7m×幅：0.4m）から18.5m下の地面に墜落し、死亡したものの。	30201	1	50 ～ 99
2015	3	7 ～ 8	建築物の外壁塗装及び改修工事において、被災者を含む労働者4名により建築物全周に設置された足場（鋼管足場）の南面側の上で、外壁の換気用ダクト及び窓枠に付着している塗料（前日までに塗装していたもの）の拭取り作業を行っていたところ、足場の5層目において作業を行っていた被災者が、前日までに荷上げ用として全層1スパン分足場板が取り外されていた箇所から約9.0m下の地面まで墜落したものの。	30209	1	10 ～ 29
2015	1	9 ～ 10	足場の解体作業を行っていた被災者は、7層目の作業床（幅40cm）に立ち、建地を両手で取り外そうとしたところ足を踏み外し13.4m下の道路に墜落した。被災者が取り外そうとしていた建地は、2列ある足場の外側の建地で、当該部分には作業床がなかった。被災者が立っていた足場躯体側の作業床には、手すり及び中さんはなく、親綱も設置されていなかった。被災者は安全帯を着用していたが、使用していなかった。	30201	1	1～ 9
2015	6	10 ～ 11	寺社納骨堂外壁改修塗装工事において、被災者が外部足場2層目作業床上（高さ2.73メートル）にて、養生シートをかがんだ姿勢で片づけていたところ、中さん等の設置のない作業床と高さ94センチメートルの手すりの間から後ろ向きに2.73メートル下のコンクリート床に墜落した。	30209	1	1～ 9
2015	10	8 ～ 9	被災者は、建設会社の資材置場（常駐労働者2名）において、わく組足場2層分（垂直方向340cm、水平方向90cm）を組んで、資材置場入口にあるパネルゲート上部のレール部分（地上高438cm）の修理作業を行っていたところ、足場が倒壊して被災者は足場上から墜落したものと推定される。被災者の単独作業であったため災害発生状況の目撃者はおらず、通行人が倒壊した足場と足場の脇に倒れていた被災者を発見した。	30309	1	30 ～ 49
2015	6	9 ～ 10	木造住宅建築工事現場において、足場の上で外壁の施工状況を点検中、少なくとも高さ3M以上の足場上から地上のコンクリート側溝に墜落した。	30202	1	1～ 9

2015	11	16 ～ 17	商店街のアーケードの張替工事現場において、被災者を移動式足場（3段組）の二段目（高さ：約3.5m）に乗せたままの状態、当該足場を移動中、地面勾配にあわせて脚部のジャッキを調整したところ、当該足場のバランスが崩れ倒壊した。このため、移動式足場に乘っていた被災者は、移動式足場と共に仰向けの状態で地面に激突し、意識を失った。（9日後、搬送先の病院で死亡が確認された。）	30209	1	10 ～ 29
2015	8	9 ～ 10	小学校体育館の吊天井落下防止工事にて、既設天井の解体作業（ボード類の取り外し）で発生した、体育館床に散乱したボード類の破片の清掃作業を、作業員8人で行っていたところ、被災者は工事に使用している棚足場の高さ3段目（4.62m）から体育館の床に墜落したもの。（足場上に落ちたボード類の破片を取り除くために登ったものと考えられる。）	30201	1	30 ～ 49
2015	6	12 ～ 13	ごみ焼却施設建設現場において、ピット内に組まれた足場の清掃作業を行っていた被災者が、ピットの床からの高さがおおよそ20メートルの足場上から墜落し、死亡した。	30201	1	1～ 9
2015	8	11 ～ 12	木造平屋建の倉庫新築工事現場において、外壁下地に貼るシートを固定するため高さ3.66mの仮設足場上（2段目）でしゃがんで作業していたところ、バランスを崩し、足場と建物の間から墜落した。墜落時2段目の布板から1段目の布板に激突した後、地面のコンクリート床に墜落した。頭部を強打し死亡したもの。保護帽は未着用。	30202	1	1～ 9
2015	10	13 ～ 14	被災者は体育館耐震補強工事において、最上段のみ作業床を全面に敷き詰めた足場上（高さ約10.3m）で照明器具の取付状況の点検作業を行っていたところ、開口部（約70cm角）から墜落して死亡した。	30301	1	10 ～ 29
2015	9	0 ～ 1	被災者は、ビル屋上に設置された足場（手すりあり、昇降設備なし）において看板の撤去作業を行っていたところ、高さ約10メートルの足場の作業床から屋上面に墜落し死亡したもの。	30209	1	1～ 9
2015	8	9 ～ 10	個人邸の住宅防音工事において、脚立足場（6尺の脚立の1段目に足場板を設置）上で窓のサッシの交換作業を行っていた作業員が、作業床上から墜落したもの。救急車で病院に搬送されたが、死亡した。	30209	1	1～ 9

2015	9	11	木造2階建て住宅新築工事現場において、軒天の塗装作業中に仮設足場を歩行しているとき、高さ3.09m(2段目)の足場上で2枚敷きの布板の内、1枚が取り外された状態で設置されており、足場板の抜けていた開口部分から墜落し1段目の足場板に激突したのち、地面に墜落したもの	30202	1	1 ~ 9
2015	10	9 ~ 10	住宅の外壁張替工事において、高さ5.4メートルの3段目の足場上で窓枠のコーキング作業を行っていたところ、バランスを崩し足場内側と建物の間に墜落した。墜落時に2段目の布板に激突し、その後地面に墜落した。被災状態を見ていた者はおらず、近くで作業していた大工が物音に気付いて被災者を発見した。被災後、入院治療を行っていたが平成27年11月19日死亡したもの。	30202	1	1 ~ 9
2015	7	9 ~ 10	足場解体作業中、高さ16メートルの足場から墜落したもの。災害時、親綱は張られており、被災者は安全帯を着用していたが、使用していなかった。保護帽は着用していた。	30201	1	10 ~ 29
2015	9	9 ~ 10	改修工事現場において、外壁工事のための枠組足場の組立て中、足場7層目にて部材の受け取りを行っていた被災者が、高さ約12メートルから、荷揚げのため地上に仮置きされていた建枠上に墜落し、死亡したもの。足場には手すり枠が設置されていたが、被災者が荷を取り込んでいた箇所は、手すりが欠けており、その箇所から墜落したもの。荷の受け取り口付近に親綱の設置はなく、被災者は安全帯を着用していたが使用していなかった。	30201	1	10 ~ 29
2015	6	17 ~ 18	14階マンションの修繕工事において、13階部分の枠組足場23段目を組立中、建枠2本を受け取り1本を建て、もう1本を建てるため横移動した際、バランスを崩して墜落したもの。(墜落高さ約35m)	30209	1	1 ~ 9
2015	3	16 ~ 17	被災者は、上記所在地の戸建住宅外壁塗替え工事において、軒裏の天井(以降、軒天という)の補修を行っていたところ、建物の周囲に設置された一側足場の二層目から建物入口のひさしに落ちた後、さらに地上に墜落した(墜落高さ4.3メートル)。災害発生当時、被災者は、幅25センチメートルの一側足場上にいたが、安全帯を着用せず、当該補修作業を行っていた。	30202	1	1 ~ 9
		11				10

2015	3	～ 12	橋の塗装が終了したため、つり足場を解体する作業中に被災者が水面から2.5メートルの高さにおいて足場材を取り外し、橋の上にいる同僚に単管を受け渡す作業を行っていた際、足場から川に墜落し、溺死したものの。	30209	1	～ 29
2015	8	15 ～ 16	S造2階建住宅解体工事現場において、丸太足場に設置した養生シートのうち、3層目部分を外すため、被災者が丸太足場の3段目に登って作業していたところ、約5メートル下の隣地との境界にある柵に墜落し、さらに約1メートル下の隣地に墜落した。ただし、災害発生前後の目撃者はいない。また、被災者は事業場に対し請求書を提出し報酬をうけていた等により労働者に疑義があったが、労働者性が認められた。	30209	1	10 ～ 29
2015	10	10 ～ 11	足場4層目作業床（高さ約7m）で建枠を取り付けるに当たり、建枠の一方（外側）を下層建枠のジョイントに差し込み、もう一方（躯体側）をジョイントに差し込もうと建枠の下部を押し広げていたところ、先に差し込んだ建枠がジョイントから外れ、勢い余って躯体側に墜落したものの。足場作業床の外側には安全带取付設備（手すりわく）が設置されていたが、被災者は安全带を使用していなかった。	30101	1	1～ 9
2015	11	9 ～ 10	新設の鋼製橋梁工事（橋長：35メートル）において、4名の作業員で橋梁に設置されていたつり足場の解体作業中、被災者は橋桁の下部に設置されていた足場板を撤去していた際、その下を流れていた川（作業床から川面まで約1.3メートル）につり足場から墜落し、川を約100メートル流され、墜落から約1時間30分後に救出されたが溺水により死亡したものの。	30199	1	1～ 9
2015	9	14 ～ 15	集合住宅の外壁改修工事現場において、被災者と同僚が外部足場の落下防止柵の組み立て作業を行っていたところ、被災者と同僚が乗っていた落下防止柵が崩壊し、作業をしていた2名が墜落した。	30201	1	10 ～ 29
2016	12	8 ～ 9	被災者は消化タンク内に組まれた足場上で、塗装の準備作業として内壁の結露を拭き取る作業を行っていた際、足場中心部の開口部からバランスを崩して13.75m下のタンク底部に墜落した。	30309	1	1～ 9
2016	12	15 ～	駐車場として使用している木造平屋建ての倉庫の天井に、鳥よけ用のネットを労働者2名で設置する作業を行っていた。当該作業のためにローリングタワーを2台使用し、ローリングタワー間に木製の足場板を3枚掛け渡し当該足場板上でも作業できるようにしていた。被災者は取り外していた照明器具を再度取り付けるために足場板に足を掛けたが、足場板が転位して2.8メー	30202	1	1～ 9

		16	トルの高さから墜落し、頭部等を打撲した。			
2016	10	14 ～ 15	木造平屋住宅の屋根改修工事現場において、脚立足場（高さ約1.75m）の上に立ち、充電式インパクトドライバを用いて雨樋固定金具のビス止め作業中、バランスを崩し脚立足場から側の溝（深さ0.76m）に転落、頸椎を損傷し死亡した。	30202	1	1～ 9
2016	10	11 ～ 12	マンションの耐震補強工事において、南面外部足場14層目で解体作業を行っていた被災者が約22.6メートル下の歩道の上に墜落し、当日死亡した。	30201	1	10 ～ 29
2016	10	9 ～ 10	木造1階建新築工事において、玄関の組立作業を行うにあたり、脚立に歩み板（幅18センチ、2枚重ねで厚さ合計9センチ）を敷いた作業床（高さ1.67メートル）上で、クレーンで吊った玄関ポーチ材を固定するため支えていた被災者が作業床から墜落した。	30202	1	1～ 9
2016	10	23 ～ 24	橋梁架設工事に使用したつり足場の解体で、朝顔（パネル2枚を上下に接合し、単管とクランプで固定したもの）を取り外し、橋桁上に設置した移動式クレーンで吊り上げる作業中、上部パネル上端部へ玉掛した後にクランプを外す作業手順であったが、玉掛する前にクランプを外してしまったため上部パネルが下部パネルとの接合部を支点にして外側に倒れ、上部パネル部で作業をしていた被災者が約20m下の地上に墜落した。	30105	1	1～ 9
2016	9	13 ～ 14	外壁改修工事の足場設置に伴う落下防止柵（以下、「朝顔」という。）の設置を足場の10層目において行っていた。朝顔の骨組みの設置を終え、鋼製足場板を骨組み上に敷き詰めていたところ、朝顔を構成する単管のクランプ（朝顔先端部）が外れたため、鋼製足場板とともに約18m墜落し、被災した。	30309	1	1～ 9
2016	9	11 ～ 12	枠組足場組立作業中、10層目作業床上（幅100センチ）で電動ウインチを使用してブレス材の荷揚げ作業を行っている際に、同ブレス材が10層目上の建枠に引っかかりそのバランスが崩れてしまい、これを保持しようとした被災者が誤って約17メートル下の1階床面に墜落した。	30309	1	1～ 9
		13	自動車道工事の橋長88メートルのコンクリート橋建築現場で、A1-P1径間のつり足場の組立て作業を8人の作業員で行っ			1～

2016	9	～ 14	ていたところ、被災者は組立て中の足場板から約14メートル直下に墜落した。	30105	1	9
2016	8	11 ～ 12	被災者は、枠組足場を先行して組み立てる作業に同僚8人とともに朝から従事していた。北面の足場から組立てて4段目の組立てを同僚と2人で行っていたところ足場が倒れたため、同僚とともに墜落した。	30201	1	10 ～ 29
2016	8	～ 10	ホテルの外壁塗装工事で被災者は外壁の目地をモルタルで埋める作業を行っていた。当該作業は足場を使用しての作業であったが、躯体と足場の隙間が78cm開いており、足場から身を乗り出し、建屋に体を預け作業していたところ、約4.8mの高さから墜落した。	30309	1	1～ 9
2016	7	～ 17	治山工事において、労働者2名で谷止工の上流側と下流側で型枠解体作業を行っていた。被災者は、一人で上流側のブラケット足場上で型枠の解体作業中、当該ブラケット足場（地上から高さ5.7m）から墜落したと推測される。午後6時頃、下流側で作業していた同僚が、戻りの遅い被災者の確認をした際、地上に倒れている被災者を発見した。	30108	1	10 ～ 29
2016	7	15 ～ 16	被災者は、壁材取り付け工事において足場（高さ約4メートル70センチメートル）から転落し、死亡した。	30202	1	1～ 9
2016	4	10 ～ 11	木造2階建てのリフォーム工事において、足場の組立作業中、2層目の手すりを取り付けていたところ、約4mの高さから足場外部に墜落した。	30202	1	1～ 9
2016	4	～ 16	労働者2名がタンク周りに設置された木製の足場（高さ約1.7m）上で酒造で用いるタンクの上部に保温用のシートを取り付ける作業を行っていた際、シート固定用のロープを締めていたところ、当該ロープが切れ、ロープを引っ張っていた労働者1名が、勢い余って作業足場上から床面へ墜落した。	10105	1	1～ 9
2016	3	13 ～	ビル外壁修繕工事現場において、足場解体作業に従事していた被災者が、交差筋交いを取り外して鋼製布板を集積した高さ5.	30201	1	1～

	14	5 mの足場作業床上を移動中に墜落した。			9
2016	3	13 被災者は、RC造4階建共同住宅（1階は店舗）の改修工事において、地上からロール状の防水シートを屋上に上げるために足場に設置したウインチを移設する作業をしていた。物を屋上に引き入れるために足場の手すりを取り外してできた足場外側開口部（幅1.8 m、高さ2.25 m）からバランスを崩して11.2 mの高さより地面に墜落した。	30201	1	1～9
2017	12	12 被災者は、二階建て集合住宅の各戸の窓周りのコーキング除去作業において、当該事業場が設置した枠組み足場の2段目の躯体側に、地上から高さ約4 mの位置にブラケットを使用し足場板（長さ4 m）を設置し作業していたところ、足場板を固定してい	30209	1	1～9
	13	13 なかったため、ずれ、傾き、足場の外側に設置した手すりと作業床の隙間から墜落した。			
2017	11	14 8階建ビルの震災復旧工事現場において、足場の作業床（下から10層目、高さ約19 m）上にて足場の組み立て作業を行っていた被災労働者が転落し、死亡した。	30201	1	1～9
	15				
2017	11	10 高架橋耐震補強工事において、被災者は橋桁側に設置した上部工ブラケット周囲のシール作業を行うために、橋脚側に設置した下部工ブラケットの上（吊足場の床板から高さ114 cm）に乗っていたところ、別の上部工ブラケットを吊り込むために吊足場の床板及びころばしを取り外した開口部（177 cm×243 cm）から約16 m下の地面まで墜落した。	30105	1	1～9
	11				
2017	11	10 外部足場を解体するため、足場壁つなぎを取り外し、取り外した箇所にはタイルを張り、被災者がタイルの紙シートをはがす作業を行っていたところ、くさび緊結式一側足場における幅24センチメートルの足場板上を移動中にバランスを崩し地上まで高さ	30209	1	1～9
	11	11 5.6メートル墜落し死亡した。			
2017	10	12 高速道路保全管理工事において、道路高架下に設置してある吊り足場の解体中、足場上で足場板を高所作業車の作業員へ渡す作業を行っていた際、固定されていない足場板に乗ったところ、足場板がころばしに掛かっていなかったため、足場板ごと約6 m	30199	1	10～29
	13	13 下の川（水深4～5 m）に墜落し水死した。			
2017	10	14 被災者は、RC造3階建集合住宅の屋上防水及び外壁塗装を行う改修工事のため、外部足場（枠組み足場）の組み立て作業に従事していたところ、交差筋かいのない足場3段目から地上まで5.3 m墜落した。保護帽の着用あり。安全帯は着用していたが使	30209	1	1～9

		15	用していなかった。			
2017	10	10 ～ 11	2階建住宅の外壁塗装工事現場において、足場の作業床（下から2層目、高さ約4m）上にてシャッターの塗装作業を行っていた被災労働者が転落した。	30209	1	1～ 9
2017	10	12 ～ 13	既設建屋の屋上防水及び外壁塗装工事において、外部足場で物音がしたため、他の労働者が駆け付けたところ、足場5段目に降りる階段上で頭部から出血して倒れている被災者を発見し、搬送先の病院にて死亡が確認された。被災者は保護帽を着用していなかった。被災者は足場最上段（6段目）から下段（5段目）に階段で降りようとしたところ、5段目に転落したものと推定される。	30201	1	1～ 9
2017	10	10 ～ 11	RC造2階建て住宅新築工事現場の型枠設置工事において、外壁せき板の位置を調整するために一側ブラケット足場の高さ5.7メートルの箇所を移動中、足場上に伸びていたせき板固定用のさん木をくぐった際に、手すり下の隙間から足場外側に墜落して地面に頭を強打した。	30201	1	1～ 9
2017	9	12 ～ 13	体育館吊り天井改修主体工事において、足場の組立作業の補助作業を高さ約15.7mの足場上で行っていたところ、体育館既存の梁に頭をぶつけた際にバランスを崩し、足場から墜落した。	30209	1	1～ 9
2017	9	14 ～ 15	ビル外壁補修を行う工事現場において、外壁のシーリング工事を行っていた被災者が、足場上の高さ約24.4メートルの地点から足場外周側に張られたメッシュシートを突き破って墜落し死亡した。	30209	1	10 ～ 29
2017	9	8 ～ 9	木造2階建ての新築工事現場において、被災者は、足場の作業床（高さ4.72m）で足場の外側にメッシュシートを設置するに当たり、鳩目と鳩目を紐で結ぶ作業中、作業床から建物側に転落し、地面に墜落した。	30202	1	1～ 9
2017	9	10	橋梁修繕工事のために設置していたつり足場の撤去作業のため、つり足場上から集積した足場板を橋梁上の道路に設置した移動式クレーンでつり上げるために、玉掛けを行おうとしたところ、安全帯を掛けていたつり足場の手すり及び集積していた足場板	30199	1	1～

		11	とともに、約20m下の河原に墜落した。			9
2017	9	4 ～ 5	橋梁の吊り足場の解体において、吊りチェーンを外していたところバランスを崩し、28mの高さから墜落した。なお、墜落時に安全ネットに掛かるもネットから墜落した。	30105	1	1～ 9
2017	9	12 ～ 13	工場建屋2階搬入口からフォークリフトを搬入するための搬入台の設置作業を行っていたところ、何らかの原因により搬入台2層目から墜落し、搬入台の根がらみ付近で頭から血を流して倒れているところを発見された。	30209	1	10 ～ 29
2017	9	10 ～ 11	2階建て木造建築の新築工事において、先行足場による足場の組み立て作業で、飛散防止用のメッシュシートを張る作業を行っていたところ、被災者が足場3層目から墜落し、死亡した。	30202	1	1～ 9
2017	8	10 ～ 11	RC造地上3階建新築工事現場において、屋上部の排水溝のモルタル補修作業を行うため、外部足場最上層（7層目）で着用していた安全帯を使用せず、外面側の筋交の一部を取り外し、ウインチを用いて、練ったモルタルが入ったバケツを巻き上げ中、12.7m下の地面に墜落し被災した。	30209	1	1～ 9
2017	8	16 ～ 17	被災者は、地上高さ約18メートルにおいて型枠足場を組み立て中に、肩に重さ18キロの調整枠2本を担いで、足場を移動中に足場に置いていたブラケットに、調整枠の一部が接触し、その反動により身体のバランスを崩して墜落した。現場には親綱の設置がされていたが、被災者は安全帯を着用はしていたが、使用していなかった。	30201	1	30 ～ 49
2017	8	14 ～ 15	新築工事現場での作業中、地上約3mの所で柱の金物を打とうとしたところ足場のつなぎ目が折れて墜落し、右大腿骨・骨盤・胸椎を骨折した。その後、多臓器不全により死亡した。	30202	1	1～ 9
2017	7	14 ～	自動車道の橋での橋梁補修工事に伴い、設置してあったつり足場の解体作業中、足場用つりチェーンのクランプが外れ足場板が傾いた時に足場から墜落して約33m下の地面に激突し、頭部を強打し死亡した。	30105	1	1～ 9

	15					
2017	7	16 ～ 17	エレベーター改修工事に係る既存エレベーター撤去作業中において、エレベータ搬器を固定した16階付近で、搬器の床上に設置した枠組足場1層の作業床上に乗り作業をしていた被災者が、当該箇所から、昇降路壁と搬器間の開口部を介して、約7.8m下の昇降路ピットまで墜落し、死亡した。	30203	1	1～ 9
2017	6	10 ～ 11	被災者が、屋根改修工事現場において、2階の屋根の端にある破風板の取替え作業を行っていたところ、地上から高さ3.51cmにある足場2段目の作業床から地上に墜落し、死亡した。	30202	1	1～ 9
2017	6	10 ～ 11	被災者は、火災によりクラブホール天井に付着したすすの除去作業の仕上げとして、当該箇所に脱臭用の薬剤を噴霧するため、作業足場（全12層）の9層目（高さ約1.4m）で作業していたが、その後、被災者が作業していた方向から何か落ちる音が聞こえ、現場監督が駆けつけたところ、被災者が1階床で倒れているところが発見された。発見時に被災者は安全帯を着用していたが、不使用だった。	30309	1	30 ～ 49
2017	5	10 ～ 11	11階建マンションの大規模修繕工事において、外壁周囲に設置されていた枠組足場（一部単管ブラケット足場）の解体作業中、被災者はブレス、別の作業員が取り外された足場板上（地上から10段目 地上からの高さ15.7メートル 建物6階付近）において作業中、地上に墜落し死亡した。	30209	1	1～ 9
2017	4	12 ～ 13	元請として施工する新築工事において、被災者は派遣労働者として当該店社に派遣され、施工管理を行うため当該現場で研修中、午後1時15分頃「ドン」という音が聞こえ、足場と躯体との間の地面に被災者が倒れていた。直ちに救急搬送され、入院加療していたが、死亡した。	30201	1	1～ 9
2017	4	8 ～ 9	木造2階建て住宅の改修工事現場において、2階部分の屋根東側の雨樋を塗装していた被災者が一側足場に設置された高さ0.9mの手すりを越えて4.3m下の地面に墜落した。災害発生の目撃者はおらず、通行人が墜落して倒れている被災者を見つけた。	30202	1	1～ 9
		8	木造2階建てマンションの新築工事中、外壁造作のため地上から約3.8メートルの高さにある作業床（足場）上で作業していた被災者が持ち場を離れた場所（2～4メートル）の作業床外側から約3.8メートル下の地面にうつ伏せで倒れているのを同			1～

2017	4	9	僚労働者が発見した。足場は一側足場であり、作業床の外側には作業床から0.95メートルの高さに手すりが設けられていた。	30202	1	9
2017	2	16 ～ 17	一般住宅外壁塗装工事において、養生のため一側足場上で単独作業を行っていた被災者が、現場前の道路上に倒れているところを通行人が発見した。被災者はヘルメット、安全帯を着用していなかった。	30209	1	1～ 9
2017	2	8 ～ 9	玉ねぎ乾燥施設の建設工事現場において、被災者が建屋内部に設置した8つのローリングタワーのうち、2つのローリングタワーの間に3枚の鋼製の作業床を架け渡して作業床を敷き詰める作業を行っていたところ、高さ約5mの作業場所から墜落し、病院へ搬送されたが死亡した。被災者は保護帽を着用していたが、安全帯は着用していなかった。	30201	1	10 ～ 29
2017	1	10 ～ 11	新ドック建設工事に伴うポンプ室の防水塗装工事が完了し、被災者は足場材料の片付け及び足場板上で玉掛作業に従事していた。その後、被災者が見えなくなったので探していたところ、地下2階の床面に倒れているのを発見し、直ちに病院に搬送したが死亡した。	30309	1	1～ 9
2017	1	12 ～ 13	災害発生地において、南面単管ブラケット足場の解体作業中、4層目（地上から約7メートル）から3層目（約5.3メートル）へ建地に沿って降りようとしたところ、足を滑らせ墜落し死亡した。	30201	1	1～ 9
2018	12	16 ～ 17	木造2階建て一般家屋の屋根補修のための昇降用くさび緊結式単管足場を被災者が一人で組み立てていたところ、足場の2層目（高さ約3.6メートル）付近から地上（コンクリート製の通路面）に墜落した。	30202	1	1～ 9
2018	11	12 ～ 13	建築現場にて、地上からの高さ約3.1mのくさび式足場材で構成した一側ブラケット足場のブラケット（幅約40cmの作業床（布板））の上で躯体ベランダのペンキ塗装作業中、当該足場上で横たわるようにして倒れていたことが確認された後、地上からの高さ約0.8mのウッドデッキへ墜落し、さらに反動で地上へ墜落したものの。	30202	1	1～ 9
		12	被災者はブラケット足場上で、換気扇の取替え作業に伴う換気口清掃作業を行っていたものであるが、作業中に足場から墜落			1～

2018	11	13	し、約17.3メートル落下し、死亡したものである。	30209	1	9
2018	11	14 15	被災者は、当該工事において、地面からの高さ1.5mの一侧足場（作業床の幅0.25m）の上で左官作業を行っていたが、地面から1.5m下の川岸の段差に墜落し、更にその1.9m下の川に墜落して、頭部に挫傷を負った。救急病院に搬送されたが、同日死亡した。当該店舗は川沿いに建っているが、川側の敷地が狭く、幅が0.4m～1.4mしかなかった。足場に手すりはあり、被災者は、保護帽を着用していた。	30202	1	1～ 9
2018	10	18 19	被災者は、個人邸台風災害復旧工事において、高さ5.17mの鋼管枠組足場の上で、足場の解体作業を行っていたところ、同所より墜落したものと推察される。被災者は、安全帯の着用無く、単独で作業を行っていたものである。	30202	1	1～ 9
2018	10	16 17	被災者は、造船所構内のドッグで建造中のタンカー内において、船体のデッキの組み立てを行うための吊り足場を架設作業中、高さ17.7mの船底に墜落し、同日死亡したものの。	11501	1	30 ～ 49
2018	10	10 11	足場の組立作業中、足場材の運搬を行っていた被災者が足場の8層目（高さ約15m）から墜落した。	30309	1	1～ 9
2018	10	10 11	被災者を含む4名で枠組足場の解体作業を行っていた。被災者は、枠組足場の10段目で交差筋かいと下さん等を取り外し、スリングロープで束ねる作業に従事していたところ、墜落し、約17.4m下のアスファルト路面に激突し、搬送先の病院で死亡したものの。足場には親綱が設置されており、被災者は墜落制止用器具（胴ベルト型一本つり用安全帯）を着用していた。	30209	1	1～ 9
2018	9	10 11	橋梁上部補修工事のため設置された吊足場の解体中、足場から転落したものの。被災者は足場から約12m鉛直下の川に墜落し、一時所在不明であったが、2日後、下流600m、東岸にて溺死した被災者が発見されたものの。	30105	1	10 ～ 29
		10				

2018	9	11	空き家修理工事において、2階建て家屋の南側壁面窓の手すり（1階部分）のさび落とし後に、墜落し死亡した。墜落時には現場に誰もおらず、墜落状況は不明である。	30202	1	1～ 9
2018	8	12～ 13	地上約10mのつり足場上で、同足場の解体作業を行っていた被災者が、上さんの取り外しを行うために下さんに昇って作業をしていたところ、既に片方のクランプ及びチェーン控えを取り外していたため、もう片方の手すり建地が外側に回転し被災者が投げ出され、約10m下の敷鉄板上に落下したものと推定。落下の際、被災者はハーネス型安全帯を装備していたものの、足場上に張られた親綱にはフックを掛けていなかったものと推定。	30105	1	30～ 49
2018	6	8～ 9	橋補修工事において、吊り足場設置作業を行うに当たり、吊りカーンに吊りチェーンを取付ける作業のため、2点掛けの安全帯を使用し、単管に渡した足場板上を移動中、2点掛けのうち一つのフックを掛け替えようとしたところ、もう一つのフックを掛けていた吊りカーンが抜け、約16.5メートルの高さから作業員が墜落したものの。	30105	1	1～ 9
2018	6	12～ 13	3階建木造家屋新築工事に伴う先行足場（くさび緊結式・一側）の組立作業において、最上段の手すり（高さ7.2m）取付けるため、その下の手すり（高さ6.3m）に足を乗せ建地に掴まり身体を保持する姿勢で取付け終えた後、当該箇所から墜落し、頭部等を打撲し死亡したものの。	30202	1	1～ 9
2018	6	2～ 3	労働者が、レール上に設置したトロリー台車上に組立てられた足場の作業床から、安全ブロック及びハーネス型安全帯使用の上、当該足場外部に設けられたステップを伝って降りようとした際、当該労働者が足を滑らせたところ足場自体が転倒し、当該足場の下敷きとなった。なお、災害発生時、下請事業場の代表者が当該足場上に乗っており、足場倒壊と同時に墜落した（打撲のみ、治療なし）。	30105	5	50～ 99
2018	5	16～ 17	焼却施設の解体工事において、4次下請の鳶工2名が煙突上部周辺（地上から高さ16.4mの位置）で足場の防音シート張り及び開口部に敷き詰めていた木製足場板の撤去作業を行っていたところ、木製足場板の撤去を行っていた労働者が足場と煙突躯体の間に墜落した（墜落の高さ：16.4m）。同僚からは死角となっていたため、墜落した瞬間を目撃した者はいない。	30209	1	1～ 9
2018	5	10～ 11	S造3階建アパート新築現場（施主が元請）において、屋上パラペットのコンクリート打設作業のために一時的に取り外していた足場最上階の手すりを同僚1名と復旧しようとしていたところ、当該手すりを取り外してあった箇所より9.5m下の地上に墜落した。被災者は病院に搬送されたが、後日死亡した。	30209	1	1～ 9

2018	4	16	風屋ダム取水口ゲートでつり足場の撤去作業中に階段枠を取り外したところ、バランスを崩し、取り外した階段枠とともに、約	30101	1	1～
		17	2. 3 m下の水面へ墜落した。被災者は、水面より約16 m下の位置で発見され、引き上げられたが、搬送先で死亡した。被災			9
			当時、保護帽、安全帯、安全靴、革手を着用していたが、ライフジャケットは着用していなかった。			
2018	2	8	2階建て一般住宅の塗装工事のため設置したくさび緊結式の一側足場を解体するため、作業員3名が各々の場所で足場外面に張	30209	1	10
		9	られたメッシュシートを剥がしていた。建屋北西面から異音がしたことから作業員2名が駆けつけたところ、隣接アパートの敷			～
			地に倒れている被災者を発見したもの。保護帽は被災者の周囲に転がっており、安全帯は着用していなかった。			29
2018	2	14	3階建建物の外壁補修工事において、外部足場（一側足場）と建物躯体の一部に足を乗せて既存の外壁コーキング材の撤去作業	30201	1	1～
		15	を行っていた作業員が、メッシュシートの隙間から敷地外の隣家まで墜落したもの（墜落高さ約2メートル12センチメー			9
			ル）。			
2018	2	16	被災者は、ホール内の既設吊天井の落下防止対策として、当該天井下に落下防止ネットを取り付ける作業中、ホール後部の壁面	30209	1	1～
		17	に沿って張ったワイヤーロープにネットを固定するため、ブラケット足場に乘って上向き姿勢で横方向に移動しながら作業を			9
			行っていた時、ブラケット足場とホールの壁との間にできた開口部から6. 2メートル下の客席に墜落した。			
2018	2	10	鉄骨造3階建のビルの外壁に設置されたシート状の店舗看板を撤去する工事現場において、被災者は店舗看板を支持している単	30209	1	1～
		11	管に木製足場板を架け、当該足場上でビル屋根上の事業主が切断した単管を受け渡す作業をしていた際、バランスを崩しシート			9
			状の店舗看板を突き破り地上まで約9 m墜落した。			
2018	2	10	8階建てRC造建築物の外壁改修工事において、足場上で労働者6名で手渡しにより、足場部材（鋼製布板及び単管等）の荷揚	30209	1	10
		11	げ作業中、足場用墜落防止設備を外していた足場開口部（高さ15. 3 m）から地面に墜落した。			～
						29
2018	2	14	ケミカルタンカー内に設置する鋼製仕切りの溶接作業の状況を確認するため、被災者が足場最上段に登ったところ、手すりの無	11501	1	30
		15	い箇所（高さ約10 m）から墜落したもの。災害発生時、足場最上部では他の労働者3名が溶接作業を行っていた。（被災者の			～
			経験期間未確認。）			49

2018	1	8 ～ 9	マンション吹抜け部外壁塗装の準備作業のため、外部足場を使用し、ガムテープにて6階部分のマスキング作業を行っていたが、6階の作業を終え、足場の外をつたって5階へ移動する際に墜落したと推測される。	30309	1	1～ 9
2018	1	14 ～ 15	S造2階建て建屋の建築工事における建屋鉄骨組立て作業を行っていた際、主だった鉄骨の組立てが完了し、外部足場を使用して各部分のボルト締め作業を行っていたところ、地上で雑作業を行っていた作業者が後方で大きな音がしたため振り返ったところ土間に横向きの状態で倒れている被災者を発見した。直ちに消防に通報し病院に搬送したが意識不明の状態が続き、死亡したものの。	30201	1	1～ 9
2019	11	14 ～ 16	木造2階建て住宅の改修（塗装塗り替え、屋根補修等）工事現場において、屋根瓦のしっくい塗り替え工事作業中、高さ5mの足場から転落したもの。墜落の現場を見た者はいないが、屋根においてあったものを取ろうとして手すりに乗ったところ転落したものと推定される。	30202	1	1～ 9
2019	11	2 ～ 4	被災者は、橋梁アーチ部の塗装工事のために使用していた吊足場の解体作業中、高さ約7m地点の作業床から墜落した。	30209	1	1～ 9
2019	11	10 ～ 12	4階建てマンションの改修工事（塗装）において休憩を取るため足場を移動中に何らかの原因によりバランスを崩したのか、外部側へ転落し隣地との境界フェンス（高さ218cm）上の防犯用忍び返しに胴部分が刺さり死亡したもの。墜落箇所については目撃者がいないため不明。	30309	1	1～ 9
2019	11	10 ～ 12	鉄骨建屋の建築工事で、胴縁のタッチアップ塗装のため、被災者は外周足場4層目（地上高さ7.33メートル）において鉄骨に塗料を刷毛で手塗りしていたが、足場の階段開口部付近から墜落し、階段外側に設置されていた手すりを越えて、地上まで落下したものの。	30201	1	1～ 9
2019	10	8 ～ 10	被災者は、2階建て個人住宅外壁塗装作業のため設置された丸太足場（抱き足場）上で作業を行っていたところ、足場設置箇所から約1.8メートル下方となる階段下通路に墜落した。なお、被災者が作業していたと思われる箇所の高さは足場設置箇所から2.3メートル、墜落箇所から約4.1メートルであった。	30202	1	1～ 9

2019	9	10	被災者は、午前の休憩時間に、体育館天井等落下防止対策工事のため設置された内部足場を巡視中、荷卸しのため内部足場に設けられた開口部（手すり等なし）から約20m下のホール床面まで墜落したところを、休憩時間終了後に現場作業員に発見され、被災当日に死亡が確認されたもの。	30201	1	1～9
2019	8	14	ホールの吊天井耐震化工事現場において、ホール内に棚足場を設置するのに、最上層の作業床として足場板を敷き詰める工程で、被災者がフローアから高さ9.8メートルの作業床上で、下方から足場板を受け取る作業をしていたところ、作業床の開口部からフローアに墜落して死亡した。	30209	1	10～29
2019	7	12	民間住宅改修工事現場において、2階窓の雨戸取り付け作業中、わく組足場の高さ約5.6メートルから墜落したもの。	30201	1	1～9
2019	7	8	地上高さ6.81mの木造2階建て住宅の屋根に上り、瓦等の点検補修作業を行った後、住宅外周に設置したくさび式足場の建地となる支柱をつたって地上へ下りる途中で足を踏み外し、地上高さ3.48mの箇所から墜落したものである。	30209	1	1～9
2019	6	12	被災者はバイオガスプラントの新設工事現場において、同僚3名と共に木造の固形物乾燥室の柱と梁の建方作業に従事していた。同僚が被災者が一側足場の1層目（高さ2.17m）を歩行しているのを見かけたあと、大きな音がしたので確認したところ、被災者が顔面から出血して足場下のコンクリート床に倒れており、搬送先の病院で3日後に死亡したもの。なお、保護帽は着用しており、墜落制止用器具は未使用であった。	30201	1	1～9
2019	6	14	基地内においてラジオアンテナ塗替作業用足場を解体し、ウィンチを使って足場部材を降ろそうと、被災者が高さ約40mの個所でワイヤーロープ用シーブを取り付けたブラケットの向きを変えようとした際、ブラケットを取り付けた門型枠の1層下の北側接合部が外れ、被災者が乗った足場が吊り荷（約160kg）側に傾き、当該門型枠に安全帯のフックを取り付けていた被災者が足場とともに地上に墜落したもの。	30203	1	1～9
2019	5	14	橋脚の改修工事において、吊り足場の作業床の撤去作業をしている際に、作業床から4.5m下の河川に墜落したのち溺死した	30105	1	1～

		16	もの。				9
2019	5	14 ～ 16	高さ約4メートルの足場上で階上の機器の架台補強工事で使用した養生シートの片づけ作業中、足場から床面へ下りようと移動中に足を滑らせて転落し、頸椎骨折により死亡したもの。	30302	1		1～ 9
2019	5	12 ～ 14	災害時、作業員2名で工場の樋の改修を行ってところ、被災者が鋼管足場の3段目の作業床上（高さ約5m）で、3分割に切断した縦樋の上部を取り外し、地上の同僚に手渡した後、地上の同僚が縦樋を所定位置に運んでいる際に、突然、被災者が地上に墜落した。被災者は被災後、搬送先の医療機関にて死亡した。墜落の瞬間の目撃者はいないが、被災者は作業上、2段目の作業床に移動する予定であった。	30209	1		1～ 9
2019	4	8 ～ 10	集合住宅の解体工事現場において、被災者が足場の最上層（8層目）で解体作業を行っていたところ、当該箇所から14メートル下の地上に墜落して死亡した。災害発生時、被災者は墜落制止用器具の取付け設備である親綱に墜落制止用器具を取付けていなかったものである。	30201	1		1～ 9
2019	3	16 ～ 18	木造戸建住宅新築工事現場において、足場業者の労働者である被災者が、一側足場を組み立て終了後、足場の4層目（高さ約8m）で足場周囲のネットを留めていたところ、墜落した。救急搬送後、搬送先の病院で死亡した。	30209	1		10 ～ 29
2019	3	10 ～ 12	木造保育園の増改築工事現場において、工事の障害となっている電線の状況を外部足場の単管にまたがって確認していたところ、バランスを崩して4.6m下のコンクリート面に墜落した。	30202	1		1～ 9
2019	3	10 ～ 12	被災者は、高さ273cm、長さ378cm、幅23.5cmのうま足場上で、農業倉庫のシャッター修理作業中、墜落した。	30203	1		1～ 9
		12	被災者は基礎コンクリート打設工事において、ベース型枠に入った生コンクリートの天端を金コテを使って均すため、鉄筋足場				1～

2019	3	～	14	の中段（高さ約3メートル）からベース上部に渡ろうとしたところ、誤って墜落し、掘削床面に頭部を強打した。被災者は急性硬膜下血腫により死亡した。	30201	1	9
2019	2	～	16	災害場所の人孔内に設置された枠組足場を解体中、移動式クレーンを用いて単管パイプ（5本）を荷揚げしていたところ、当該単管パイプが荷崩れを起こして落下、その落下した単管パイプが被災者に当たったかは不明であるが、枠組足場上にいた被災者が約20メートル下に墜落したものの。	30110	1	10～ 29
2019	2	～	12	ホテル新築工事の現場4階西面において、被災者が外部足場（一側足場）の6層目に立ち、型枠の建込作業を行っていたところ、何らかの拍子に足場外側に張られていたメッシュシートを突き抜けて足場外側の地面まで落下した。その際に頭部を強く打って出血しており、病院に搬送されたが、2日後に死亡が確認されたもの。	30201	1	1～ 9
2019	2	～	10	被災者は、高さ4.8mの防潮堤の上に設置された仮設足場に乗り、防潮堤内部に打設された天端仕上げ作業の準備中、強風により当該足場と共に墜落した。その後、病院に搬送されたが死亡が確認された。	30111	1	1～ 9
2019	2	～	16	6階建ての建物のルーフバルコニーの屋上において、被災者ほか2名で、屋上の周囲に設けられていたフェンスの台風により内側に傾いた部分の補正作業中、被災者は、フェンスの外に出て、中庭に設置された高さ約17mのクサビ式足場上でフェンスを垂直になるよう外側から支える工程を終え、足場の手すりに寄りかかって座り込んだところ、手すりとは作業床の隙間から、後ろ向きに墜落し、死亡したものである。	30209	1	1～ 9
2020	11	～	18	共同住宅の新築工事現場に設置された一側足場において、被災者は躯体の外壁にある穴にモルタルを詰める作業を行っていたところ、足場から墜落して死亡したものの。なお、現場内に被災者の墜落制止用器具が持ち込まれていたものの、作業時に使用していなかった。	30201	1	1～ 9
2020	11	～	12	被災者は、コンクリート擁壁（高さ3m、延長16m）の型枠に設置されていた張出し足場の組み替え作業に従事していたところ、足場板から1.5m下の地面に倒れているところを発見されたもの。保護帽は着用していたが、発見時には脱げた状態であった。なお、検死の結果、死因は外傷性頸髄損傷であった。	30106	1	1～ 9
				宗教施設躯体改修工事において、バルコニー部分の鉄骨組立作業を行うため、楔緊結式一側足場から躯体側へ鉄骨の搬入を行			

2020	9	10 ～ 12	い、被災者以外の労働者が躯体側に移り、鉄骨組立作業を行っていたところ、担当作業がなく足場に残っていた被災者が高さ3m以上の足場板から墜落し、頭蓋内損傷により翌日死亡した。墜落の瞬間の目撃者はいないが、手すりがない躯体との隙間又は中さんのない手すりの下から落ちたと推測。	30201	1	1～ 9
2020	9	8 ～ 10	工事場所において、被災者は壁高欄の仕上作業にともない足場の変更作業を行っていた。災害発生時、被災者は他の労働者とともに足場板を番線で固定する作業を行っていたところ、被災者の乗った足場板が外れ墜落した。救急搬送されたが昼に死亡が確認された。足場上から墜落した地上までの高さは約7mであった。	30105	1	10 ～ 29
2020	9	14 ～ 16	外壁補修工事において、高さ約3メートルの脚立足場上で、被災者は外壁材の張替を行っていた際に脚立足場上から墜落した。当該脚立足場は、脚立を2つ並べ、脚立の天板上に固定せずに足場板を2枚乗せた状態で使用しており、手すり等の設置、要求性能墜落制止用器具の使用はなかった。	30202	1	1～ 9
2020	9	8 ～ 10	木造2階建て家屋の新築工事において、同僚と2名で外部足場（地上から高さ4.8mの箇所）にて外装板を取り付け作業中、足場と躯体との間から墜落し死亡した。	30202	1	1～ 9
2020	8	14 ～ 16	被災者は、パレットに積み上げられた産業廃棄物である木製板を破碎するため、当該木製板をフォークリフトにより高さ3mほど上げ、破碎機の横に設置した高さ3.5mの足場の上から投入していたところ、当該破碎機の中に転落したものの。	150102	1	1～ 9
2020	8	10 ～ 12	RC造11階建共同住宅の新築工事において、躯体北面に設置されていた枠組足場を解体中、被災者は当該足場の10層目で、解体された足場部材を地面に降ろすため、下層にいる作業者に手渡す際に、誤って足場から地面まで、約17メートル墜落した。救急搬送先の病院で死亡が確認されたもの。フルハーネス型墜落制止用器具を着用していたが、そのフックを10層目に張られていた親綱にかけていなかった。	30201	1	10 ～ 29
2020	7	10 ～	RC造10階建て集合住宅の改修工事現場において、建物の外壁に沿って足場を組み立てていたところ、被災者は当該足場3層目床面の妻側より5.8m下方の地上に墜落したものの。組立中の足場は、くさび緊結式の手すり先行足場であり、被災者は幅75cmの床上でフルハーネス型の要求性能墜落制止用器具（2丁掛け）を着用し作業に従事していたが、当該器具のフックを足	30201	1	1～ 9

		12	場に取り付けていなかった。			
2020	7	8 ～ 10	解体工事に伴う養生足場を撤去するため、被災者が同足場の7層目の作業床で作業をしていたところ、同作業床から地上（高さ約12メートル）に墜落して死亡したもの。	30201	1	1～ 9
2020	6	8 ～ 10	新築工事現場14階において、工事用エレベーターを13階から15階までクライミングする作業の準備作業を行っていた被災者が、15階エレベーターピット開口部に設置してあった墜落防止用ネットを取り外すため、エレベーターの搬器上部手すり設定されていたブラケット足場に上がろうと足をかけたところ、足場が外れ、約60メートル下の地下1階エレベーターピットに墜落したもの。	30209	1	30 ～ 49
2020	6	10 ～ 12	被災者は、地面からの高さが18メートルの足場のステージを組立作業に従事していた。ステージは鋼製の根太の上に足場板を乗せた状態で、番線で足場板は固定していなかった。被災者はステージ端部で固定されていない足場板の上で、天秤状態になり、足場板と一緒に地上へ墜落したものである。被災時、手すりや親綱は設置されておらず、墜落防止措置が行われていなかった。被災者は墜落後ただちに病院へ搬送されたが死亡。	30209	1	1～ 9
2020	6	10 ～ 12	被災者は、マンションの西面に設置されたくさび緊結式本足場において、メッシュシートの取り外し作業中、足場床面と手すり（足場床面から高さ90cm）との間から、3.71m下の地面に墜落したものである。	30209	1	1～ 9
2020	4	8 ～ 10	工事用エレベーターを設置するため、既設のくさび緊結式足場の一部を解体する作業中、足場と躯体の隙間から地階まで約20メートル墜落した。	30201	1	1～ 9
2020	3	10 ～ 12	RC9階建てマンションの大規模修繕工事において組み立てた鋼管くさび緊結式足場の北面部分（高さ27m）（最高部の作業床は15段目）を解体していた被災者が、12段目の作業床から手すり1本とともに墜落した。	30201	1	1～ 9

2020	2	14 ～ 16	ドックに停留中の船内に組み立てた吊り足場について、解体作業に従事していた被災者が、作業床に乗った状態で、足場を吊っている鋼材（通称：たんざく）の固定ボルト等を緩めたところ、当該足場が45度傾き、地上約15メートルの高さから墜落し、地面に激突した。	11501	1	1 ～ 9
2020	2	14 ～ 16	工場敷地内の樹木を伐倒するため、足場（幅1.8m、高さ3.6m）を組み立て、第二層目（地面から高さ約2.3m）の作業床上で作業を行っている時、バランスを崩し作業床から約4.5m下の用水路へ墜落したと推定される。	30209	1	1 ～ 9
2020	2	8 ～ 10	工場内で、起動装置製作作業用足場の組立・解体作業を請け負っていた元方事業場の現場責任者である被災者が、組み立て作業中の足場1層目（高さ195cm）の作業床未設置の開口部（85cm×116cm）から墜落し、死亡したものの。	30309	1	10 ～ 29
2020	1	10 ～ 12	マンション外壁改修工事現場において、足場解体作業中に高さ約18メートルの足場上から墜落したものの。	30201	1	10 ～ 29

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pg/SIB_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_02.html